

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5297269号
(P5297269)

(45) 発行日 平成25年9月25日(2013.9.25)

(24) 登録日 平成25年6月21日(2013.6.21)

(51) Int. Cl. F 1
GO 1 V 3/11 (2006.01) GO 1 V 3/11 B
GO 1 C 15/00 (2006.01) GO 1 C 15/00 1 O 2 C

請求項の数 2 (全 8 頁)

(21) 出願番号	特願2009-135721 (P2009-135721)	(73) 特許権者	000211307 中国電力株式会社 広島県広島市中区小町4番33号
(22) 出願日	平成21年6月5日(2009.6.5)	(73) 特許権者	591260672 中電技術コンサルタント株式会社 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
(65) 公開番号	特開2010-281706 (P2010-281706A)	(74) 代理人	100126561 弁理士 原嶋 成時郎
(43) 公開日	平成22年12月16日(2010.12.16)	(72) 発明者	長尾 泰佳 広島県広島市中区小町4番33号 中国電力株式会社内
審査請求日	平成24年5月15日(2012.5.15)	(72) 発明者	白井 秀幸 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号 中電技術コンサルタント株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 海底ケーブル探査方法

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

海底ケーブルを探知するケーブル探知手段を所定の長さのロープを介して船舶と連結し、前記船舶の移動により前記ケーブル探知手段を海底に沿って移動させて前記海底ケーブルを探査する海底ケーブル探査方法であって、

前記ケーブル探知手段が前記海底ケーブルを横断するように前記船舶を移動させ前記ケーブル探知手段による前記海底ケーブルの探知時における前記船舶の往路位置をGPSを用いて記憶する往路探査工程と、

前記ケーブル探知手段が前記海底ケーブルを前記往路探査工程に対して反対方向から横断するように前記船舶を移動させ前記ケーブル探知手段による前記海底ケーブルの探知時における前記船舶の復路位置をGPSを用いて記憶する復路探査工程と、

前記GPSを用いて記憶された前記海底ケーブルの探知時における前記船舶の往路位置と復路位置との中間点を前記海底ケーブルの敷設位置と算出するケーブル位置算出工程と、
 を有することを特徴とする海底ケーブル探査方法。

【請求項 2】

前記ケーブル探知手段による前記海底ケーブルの探知時における前記ロープの海面に対する入水角度を測定し、該入水角度を前記ケーブル位置算出工程における補正係数として用いることを特徴とする請求項 1 に記載の海底ケーブル探査方法。

【発明の詳細な説明】

10

20